

東嶺山だより

令和3年7月 通刊162号

355-0044 東松山市正代755-1

電話・FAX 0493-34-6555

email: semyojuji@yahoo.co.jp

HP: tosaki.web.fc2.com/index.htm

携帯 090-2446-5209

お盆行事関係

～お盆関係志納・申込みは別紙参照～

新型コロナウイルス感染予防の為、昨年同様の方法で行います。

○盆供(ぼんく)	8月1日(日)午前中	マスク着用でおいで下さい
○迎盆(むかえぼん)	8月13日(金)	
○棚経(たなぎょう)	8月14日(土)	新盆家のみ
○施食会(せじきえ)	8月15日(日)午前11時	役員・新盆家のみ
○塔婆受領	8月15日(日)午後1時～	施食棚で焼香後受領
○送り盆	8月16日(月)	

* 8月1日に盆供においでになれない場合は、事前に連絡の上おいでいただくか、現金書留などで納付してください。

* 護持会費等の納入がお済みでない方は、併せて納入願います。

護持会費(7000円)+特別積立金(2000円)=**9000円**

<施食会と新盆(初盆)>



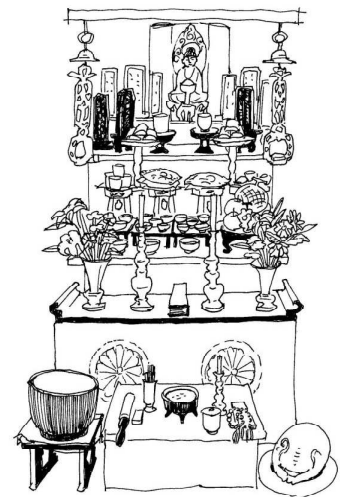
施食会(せじきえ)では、餓鬼道におちた餓鬼に飲食を施し、先祖供養の法会を営みます。この法会では、先祖・亡き父母はもとより三界万霊・無縁の仏様、全ての生きとし生けるものの供養を行います。同事に自分自身に与えられた生命に感謝し、長寿を願うという意味もあります。

また、亡くなられて49日を経過した最初の盆を新盆とか初盆とかいいます。呼び方も地方によって「にいぼん、あらぼん、はつぼん」など様々です。新盆を迎える家は、普通の盆より

も、より丁寧に先祖様をお迎えすることが大切です。

新しい仏様を迎えるために、白張りの提灯を軒先につけることもあります。精霊だなを設置するのが無理な場合は、故人の位牌を取り出して、小テーブルに安置し、香炉・花瓶・ローソク立ての三具足を配置し、故人の好物などを供えます。

寺の施食会では、新盆の仏様には特別な供養(法要)を行いますので、ご家族・ご親族お揃いでお出かけください。



盆棚の例

■盆踊りの由来は？ 日本で広めたのは？



盆踊りの由来は、お釈迦様の弟子の目連様が、亡き母を餓鬼道から救った時、雀踊りしたのがはじまりとされています。日本では、空也上人が始め、一遍上人が引き継ぎ全国に広まりました。また、盆踊りの夜は、男女の性の解放期間でもあったといい、その昔、村の若者はそれぞれ相手の娘を決めたりしたと言われていています。盆休みの間だけ女房にできる地方もあり、なんと、これを「盆かかあ」と呼んでいたそうです。

残念ながら、今年の高坂地区の盆踊りは、新型コロナウイルス感染予防の為中止となりました。

■「地獄」と「極楽」の違い

お釈迦様は、「幸せになりたければ『自利利他』の道を行きなさい」と説かれました。

「自利利他」とは、「相手を幸せにすることで(利他)、自分が幸せになれる(自利)」ということです。

相手の幸せを思いやった言葉や行動は、翻ってあなたに幸せを運んでくれる、ということです。

「地獄と極楽の違いのお話」が教えています。

ある男が地獄に見学に行くと、ちょうど昼食が始まるころでした。「さぞ粗末な食事だろう」と思ってテーブルの上を見ると、豪華な食事でした。ところが、地獄の人は皆痩せていました。食事が始まると、みんな手に、1メートル以上の箸を必死に動かしています。その箸を動かして、自分の口へごちそうを入れようとするのですが、箸が長すぎて入りません。イライラして怒りだし、人の物を取ったりする者も出てきました。でも、結局食べることが出来ないの、みんなガリガリに痩せていたのです。このように、他人のことなどお構いなしに「自分が自分が」と考える者を仏教では「我利我利亡者(がりがりもうじゃ)」と言っています。



次に、極楽に見学に行きました。ちょうど夕食が始まるころでした。やはり、料理は豪華です。住人はみんなふくよかでした。ところが、手にしているのは地獄と同じ、1メートル以上もある長い箸でした。何が違うのだろうと、良く見てみるとなんと、その長い箸でお互いの食べたいものを取ってあげて、お互いの口に入れてあげているのです。

自分の事だけを考えて、周囲の人と争い苦しんでいる人。お互いを助け合い、楽しくすごしている人。どちらが幸せかは、一目瞭然です。

私たちは、余裕がなくなると、地獄の住人のように、自分の事だけで頭がいっぱいになってしまうんですね。

■今月のことば 「かけた情けは水に流せ、受けた恩は石に刻め」

「人から 受けた恩はその人に返すのみならず、より多くの人に施せ。そして自分が施したことは、その瞬間に忘れよ」という意味である。元々は、仏教經典にあった「懸情流水 受恩刻石」から来ている

■今月の行事等

○坐禅会(7時)・写経会(8時)・ヨガ教室(写経終了後9時30分頃) 11、25日

*坐禅・ヨガは、動かしやすい服装で。 *写経は、納経志納金300円必要。

*お好みの会又は教室を選んで参加してください。勿論、すべて通して参加可能です。

○寺子屋 今月は開催なし